

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| | 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|----|-------|-----|-------------------|-----------|---|----------------|
| 1 | H 8 | 第1回 | 村田 忠雄 | 芸術文化 | 昭和29年高知コーラス合笑団を設立以来、指揮者、作曲家として生活に結びついた音楽活動を続けている。 又、施設や福祉イベントでのコンサートを積極的に行い、音楽による地域の文化振興に貢献した。 | 高知コーラス合笑団 |
| 2 | | | 高知映画鑑賞会 | 芸術文化 | 昭和52年の設立以来、自主上映を続け、高知県での「映像文化」の分野を確立してきた。 又、高知県芸術祭、高知市文化祭、アジア映画祭に参加し文化団体との交流、情報提供、後継者の育成など地域の文化振興に貢献した。 | 高知市教育委員会 |
| 3 | | | 宿毛市文化財愛護会 | 文化財 | 昭和52年の発足以来、文化財、歴史に係る学習会の開催、文化財の清掃活動を実施している。 文化施設の視察研修も毎年行い、文化財の愛護思想の普及・向上に貢献した。 | 宿毛市教育委員会 |
| 4 | | | ヤング・スマイル・クラブ | 環境保全 | 平成元年の発足以来、農業の原点である「土づくり」・「堆肥づくり」を学習し、生ゴミ分解処理剤「かえるんど」を開発するとともに、生ゴミの堆肥化リサイクル運動や花いっぱい運動を展開し、地域に潤いを与え、市民団体や消費者団体と積極的な交流を図るなど地域の環境保全に貢献した。 | 窪川町 |
| 5 | H 9 | 第2回 | 岡村 健一 | 芸術文化 | 氏は、多年にわたり川柳の創作、選句、柳誌の発行等を行うとともに、県内の柳壇の選者を永らく努め、新人の発掘に努めてきた。 また、県内外の川柳雑誌に発表された作品や川柳大会での作品は高い評価を受けるとともに、後進の指導、育成に努めるなど高知県の文化振興に貢献した。 | 高知川柳社 |
| 6 | | | 北村 文和 | 芸術文化 | 氏は、多年にわたり日本画、染色工芸作品を通じて県内美術の振興、発展に努めてきた。 また、女流展、オールドパワー展、各市展の審査員として後進の指導、育成に努め、高知県の芸術文化の向上に貢献した。 | 和紙工芸紙彩会 |
| 7 | | | 常山 進 | 環境保全 | 氏は、江ノロ川の浄化を目的とした「江ノロ川うつくしいまちづくり市民会議」結成に尽力し、同市民会議結成後は会長として、江ノロ川一斉清掃、沿線緑化、啓発活動に取り組み、河川浄化、環境美化活動を積極的に進めるなど地域の環境保全に貢献した。 | 高知市 |
| 8 | | | 松村 一位 | 芸術文化 | 氏は、多年にわたる写真芸術活動を通して、県下写真作家の底辺を広げ、写真文化の振興、発展に努めてきた。 また、女流展、オールドパワー展審査員として後進の指導、育成に努め、高知県の芸術文化の向上に貢献した。 | キタムラカメラクラブ |
| 9 | | | 和田 薫 | 芸術文化 | 氏は、第1回県展から作品を出展し無鑑査となつてからも県展の普及、発展に努めてきた。 また、オールドパワー展審査員、高知市市民学校水墨画講師として後進の指導、育成に努め、高知県の芸術文化の向上に貢献した。 | 高知市教育委員会 |
| 10 | | | 高知県合唱連盟 | 芸術文化 | 同連盟は、設立以来県内アマチュア合唱団の連合組織として「高知県合唱祭」を開催し、グループの交流、情報交換の場を提供している。 また、「高知県合唱講習会」を開催し、技術の向上を図るとともに、合唱愛好家増加に努め、高知県の音楽文化の普及、向上に貢献した。 | 高知市教育委員会 |
| 11 | | | 高知大・高知医大留学生を支援する会 | 国際交流 | 同会は、発足以来留学生がより快適な生活が送れるよう、生活環境や勉学条件の整備に努め支援を続けてきた。 また、地域住民との交流や国際理解の啓発を行い、「外国人と共に生きる地域づくり」、「世界に開かれた高知県づくり」に貢献した。 | (財)高知県国際交流協会 |
| 12 | H 1 0 | 第3回 | 田村 満智子 | 芸術文化 | 氏は、高知県芸術祭執行委員、高知県文化推進委員会委員として県下の文化活動の振興を図るとともに、高知県文化賞選定委員として広い視野での人材の発掘に努めた。 また、高知県歌人連盟の副会長として県下歌壇の振興に貢献した。 | 高知県歌人連盟 |
| 13 | | | 星加 敏文 | 芸術文化 | 氏は、高知キネマ旬報友の会の設立やフィルムマラソンの開催に尽力されるとともに、高知市民映画会運営委員として文化的に質の高い映画作品の選定・紹介を行い、県民に良質の映画を提供するなど、映像文化の振興・発展に貢献した。 | 高知市教育委員会 |
| 14 | | | 森田 瑞徳 | 環境保全 | 氏は、(社)高知県浄化槽協会の設立に尽力するとともに、(社)高知県環境管理センターに組織替え後も要職を努め、浄化槽の普及や管理の徹底、業界の資質の向上を図るなど環境保全に大きく貢献した。 | (社)高知県環境管理センター |
| 15 | | | 土佐観光ガイドボランティア協会 | その他(観光振興) | 同協会は、発足以来高知城追手門観光案内所の設置、桂浜臨時バスでの観光案内、観光ガイドブックの作成、各種観光イベントへの協力参加などのボランティア活動を積極的に行い、高知県のイメージアップを図り、観光振興に貢献した。 | 高知県観光振興課 |
| 16 | | | 日本野鳥の会高知支部 | 自然保護 | 同支部は、発足以来定例の探鳥会を開催するとともに、高知県刊の「データベース高知県の野鳥」に観察記録を提供し編集に参加した。 また、ガンカモやヤイロチョウの生息調査、鳥類のモニタリング調査を行うなど、本県の野鳥愛護思想の普及啓発に貢献した。 | 高知県環境保全課 |
| 17 | H 1 1 | 第4回 | 下村 利彦 | 文化財 | 氏は、三原村文化財保護委員の会長として村内の文化財の所在やいわれ等を調査し、「三原の文化財」を発刊した。 また、村史編纂委員として三原村の歴史を調査するとともに、村内に伝わる伝承を「みはらのむかしばなし」としてまとめ上げるなど、有形・無形を問わず文化財保護に貢献している。 | 三原村教育委員会 |
| 18 | | | 井上 好雄 | 環境保全 | 氏は、昭和48年の(社)高知県浄化槽協会(昭和54年に(社)高知県環境管理センターと名称変更)設立当初から、監事・理事・常任理事を務め、平成10年からは副会長及び清掃・管理部部長として当センターの組織活動に尽力した。 また一方で、高吾北衛生社代表取締役として浄化槽の普及促進、保守・点検、清掃の徹底に努めるなど仁淀川中・上流域における水環境の保全に貢献した。 | (社)高知県環境管理センター |
| 19 | | | 千頭 泰 | 芸術文化 | 氏は、昭和35年に東京の「コスモス短歌会」入会以後、活動を続けられ、同会における選者や高知新聞紙上の高知文芸欄における短歌部門の選者、また平成8年からは高知県文芸賞短歌部門選者などを努められた。 また、県内各地の短歌サークル、短歌会の指導者や短歌教室・講座の講師として後進の指導・育成に努められるなど、県内文芸の底辺拡大・振興に貢献した。 | 澤 豊 |
| 20 | | | 小川 静 | 文化財 | 氏は、土佐民俗学会会員及び春野町文化財友の会会員として、県内の民俗資料や春野町内の文化財の調査・研究に活躍された。 昭和52年には春野町文化財調査会(昭和53年より春野町文化財保護審議会となる)委員となり、町内の民俗資料の収集に奔走するとともに、地域の文化財愛護思想の普及啓発に努められた。 また、平成4年からは県立歴史民俗資料館資料調査員となるなど県下の民俗学・文化財保護に貢献した。 | 春野町教育委員会 |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|-----------|------|--|----------|---|---|
| H11 | 第4回 | 土佐山田町立楠目小学校こどもエコクラブ | 環境保全 | 同クラブは、意欲的な環境教育を進めている楠目小学校で設立された自主活動クラブであり、発足以来、酸性雨・水質調査・ケナフ栽培等の研究活動や地域の環境活動等に積極的に参加してきている。 これらのユニークで意欲的な活動は高い評価を受け、県内のこどもエコクラブの充実・発展に寄与するとともに、地域住民の環境問題に対する意識の高揚を生み出すなど、環境保全に大きく貢献している。 | 高知県環境保全課 |
| | | 一宮消費者グループ | 環境保全 | 同グループは昭和53年に高知市の消費者モニター0Bを中心に結成して以来、「台所から見える身近な問題」をテーマに、ゴミの減量、省資源運動に取り組んでいる。 これらの運動の成果は、市内の百貨店・量販店が使用する包装用トレイ廃止(11社58店舗)、高知市のプラスチックごみの分別収集開始など大きな効果をあげている。近年では生ゴミの堆肥化に取り組み、コンポストによる堆肥化の冊子を作成し普及啓発を行うなど、ゴミ問題の解決に向けて大きく貢献している。 | 高知県生活女性課 |
| | | 高知ラオス会 | 国際交流 | 同会は、国際協力事業団帰国専門家0Bが中心となり発足して以来、ラオス国との親善を図ることを目的に、小学校校舎や職業訓練施設の建設支援を行うとともに、高知商業高等学校生徒会の国際協力ボランティア活動の育成指導、その他国際教育啓発活動に努めるなど、県内国際協力団体の草分けとして民間レベルでの国際協力に貢献している。 | 高知県国際交流課 |
| H12 | 第5回 | 西森 昊 | 環境保全 | 氏は、昭和48年の(社)高知県浄化槽協会の初代理事に就任。 高知県環境管理センターへの名称変更と共に窪川支部を設立し初代支部長としての高幡地区の浄化槽事業の発展に尽力した。一方、昭和36年、光工務店を設立し、土木工事、上下水道工事、浄化槽事業に携わり、四万十川上流域における清流保全、環境整備に貢献している。 | (社)高知県環境管理センター |
| | | 北村 霞子 | 国際交流 | 氏は、昭和56年に高知県和紙ちぎり絵サークルを結成し、代表幹事に就任した。 県内でのちぎり絵普及活動により、平成元年度の高知県産業技術功労者表彰を受賞した。近年は国外でのちぎり絵の実演・指導や、海外からの留学生等へのちぎり絵の指導、国際交流団への土産品等の作成を行うなど、ちぎり絵を通して国際交流や国際親善に尽力・貢献している。 | 高知県商工政策課 |
| | | 坂本 正夫 | 文化財 | 氏は、教育現場や資料館に勤務の傍ら、高知県の無形・民俗文化財(民俗学)の研究を続けられ、国立民俗学博物館国内資料調査委員、土俗民俗学会理事を歴任し、民俗学の調査家・研究・成果の公表に努め、本県の民俗文化財の系統的・学問的な確立に大きく貢献した。また昭和51年から高知県文化財保護審議会委員を務め、平成7年からは高知県文化財専門委員も兼任するなど、本県の文化財の保存・活用及び普及啓発にも貢献している。 | 高知県文化財保護室 |
| | | 門脇 鎌久 | 文化財 | 氏は、昭和58年から、芸西村文化財保護審議会委員として、村の歴史・史跡・伝統文化の研究並びに保護継承活動に多大な功績を残した。また、平成8年からは芸西村文化推進協議会長として登録2団体のまとめ役に努め、自らも短歌・絵画等に造詣が深く、率先して芸西村の芸術文化の振興に尽力している。 | 芸西村教育委員会 |
| | | ボランティアグループあかつき会 | 国際交流 | 同グループは、外国人と住民との相互理解を図るため、積極的な国際交流・国際協力活動を展開している。ボランティア活動に永年取り組み、「国際交流部」を設立したことにより福祉活動に外国人が参加するようになり、「国際交流部」が設立された当時は在住外国人と住民との交流や生活支援策は皆無であったが、現在は住民の間に異文化に対する理解が深まり地域の国際化の推進に多大な貢献をしている。 | 高知県国際交流課 |
| | | 小椋 克己 | 芸術文化 | 氏は、坂本龍馬記念館の開館にあたって、開設準備室の室長として開館に向けて尽力し、開館後においても館長として、「龍馬の手紙」を中心とした資料収集に努め、ニュースキャスターの経験を生かした独特の語り口で高知県の近世の歴史文化を広く紹介した。 また、平成元年から高知県文化賞選定委員を務めるなど、本県の芸術文化の振興に貢献した。 | (財)高知県文化財団理事長 |
| | | 刈谷 義照 | 芸術文化 | 氏は、学生時代から学生演劇やアマチュア演劇の舞台装置の分野で活躍。その後、本格的に「大道具・小道具」の知識を習得し、今や郷土歌舞伎、日本舞踏等における舞台装置の第一人者として裏方の交流の場である「裏方会」の会長を務める傍ら、後進の育成にもあたるなど高知の舞台芸術の発展に貢献した。 | (財)高知県文化財団 |
| | | 北村 光代 | 芸術文化 | 氏は、(社)高知県華道協会の理事長として23流派を取りまとめ、華道の普及発展と華道を通じた社会貢献活動に努めてきた。 また、高知市文化祭執行委員、(財)高知市文化振興事業団評議員等を務め、本県の文化振興に貢献した。 | 高知市教育委員会 |
| H13 | 第6回 | 住友 弘一 | 芸術文化 | 氏は、昭和57年9月以後高知県ピアノ指導者協会及び全日本ピアノ指導者協会高知支部を設立した。以降、同協会のリーダーとして、本県のピアノ指導者の養成に尽力した。 また、国内外の著名なアーティストの招聘活動や独創的な教育プログラムの開発などにより本県のピアノ教育の普及向上に貢献した。 | 成田 十次郎 山本 晋平 坂本 征子 岩井 寿夫 池田 馨 |
| | | 関田 長生 | 芸術文化 | 氏は、平成2年から6年間にわたり高知県詩吟舞連盟会長、高知県吟詩舞道総連盟理事長を務めた。この間、吟詠、剣詩舞の普及に努め、組織の育成に尽力するなど、本県の伝統文化の振興に貢献した。 | 高知県詩吟舞連盟 高知県詩吟舞道総連盟 |
| | | 馬詰 正 | 文化財 | 氏は、昭和56年に池川町神楽保存会に入会後、地域の児童・生徒に神楽の指導を行い池川神楽の継承に努めるとともに、過去4回の海外公演により国際交流にも貢献した。 また、池川町混声合唱団及び池川清流太鼓隊の結成に尽力し、地域の文化向上に貢献した。 | 池川町教育委員会 |
| | | 宮本 博 | 文化財 | 氏は、多年にわたり本県の刀剣登録審査委員として適正な登録審査に尽力するとともに、銃砲刀剣類(美術工芸分野)の専門家として剣文化財保護審議会委員を務め、本県の文化財保護に貢献した。 | 高知県文化財保護室 |
| | | 中村 哲 | 環境保全 | 氏は、昭和49年から水処理施設の設計施工・保守点検業務に従事する傍ら、昭和7年から(社)高知県環境管理センターの役員をして活躍している。合併処理浄化槽の普及推進時期には、「環境フェア」等の会場に出向き、生活排水対策としての合併処理浄化槽の有効性、重要性を説明して普及・啓発に努めるなど生活排水対策、環境保全に貢献した。 | (社)高知県環境管理センター |
| | | 澤口 澄江 | 国際交流 | 氏は、平成5年から、国際交流員や研修生、留学生などのお世話を始め、寝食を共にした家庭生活を体験させたり、自宅で手料理による交流会を実施するなど、草の根の国際交流に貢献した。 また、広い人脈を生かして寄附金を集め、中国重慶市の病院に体温計や白衣を届けたり、長江の大洪水に際しては、武漢市に災害見舞金を送り感謝状を授与された。 | 平島 和子 |
| | | 高橋 輝雄 | 芸術文化 | 氏は、県内に民謡教室を開き、約70名の会員に民謡(三味線、唄、太鼓、尺八)を指導し、後継者の育成に力を注ぐ一方、平成5年からは日本民謡協会の高知支部長を、平成9年からは高知県民謡協会の会長を務めている。 また、月2、3回程度、福祉施設や老人ホーム等で慰問演奏を行うほか、民謡・民舞全国大会にも四国代表として参加している。 | 高知おしどり会 |
| 高知希望工程基金会 | 国際交流 | 同会は、中国の貧困農村地域への学校建設や児童図書センターの開設並びに子どもたちの就学支援や日本語教師の派遣などの国際協力活動を継続して展開し、現地の教育環境の向上などに多大な貢献を行っている。 | 高知県国際交流課 | | |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| | 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|----|-------------|------|--------------------------------|--------------|---|----------------|
| | H14 | 第7回 | 高知県日本舞踊協会 | 芸術文化 | 同会は、県下の7流派の日本舞踊を擁し、新春若手舞踊会等の発表会やチャリティ舞踊公演を通じ、広く日本舞踊の普及啓発に努めている。また、第2回より本年度の第17回まで15回の国民文化祭に参加し、高知県を謳い上げた「土佐風流」を上演することにより高知県の宣伝を行っている。 | 高知県日本舞踊協会 |
| 41 | | | 向原 寛 | 芸術文化 | 氏は、昭和39年から現在まで高知コンサートグループや高知県合唱連盟等の役員を務め、高知県の音楽文化の強力な推進役を務めてきた。また自身の演奏活動や、高知県新人演奏会、オペラよさこい節「純信・お馬」などの企画・制作により県内の音楽文化の普及啓発に努めている。 | 高知コンサートグループ |
| 42 | | | 澤田 幸雄 | 環境保全 | 氏は、昭和34年家業の澤田ポンプ店に就業し、社長就任。43年余に亘って上下水道、浄化槽、設備関係事業に従事する一方、平成2年からは、(社)高知県環境管理センターの理事・幡多支部長として活躍している。この間、宿毛市設備協会会長をも努め、地域の生活排水対策の推進と会員の技術力向上やIT化対策等に指導的役割を果たして生活排水対策、環境保全に貢献した。 | (社)高知県環境管理センター |
| 43 | | | 鈴木 堯士 | 文化財 | 氏は、多年にわたり高知県文化財保護審議会委員を歴任し、本県の天然記念物(地質学)の分野で文化財の保護に大きく貢献した。 | 高知県文化財課 |
| 44 | H15 | 第8回 | かおりの里づくり村民会議 | 環境保全 | 同会議は、「四万十川源流点の村」の名に恥じない美しい村づくりをしようとする村民の自発的活動の中から生まれたものであり、一般家庭の庭先から森林に至るまでの非常に幅広いフィールドで環境保全活動を行い、美しい村づくりを進めている。現在では、村内ばかりでなく、村外からもこの活動の趣旨に賛同する人も多数参加するようになり、ますます活動も活発になっている。(構成人員：40名) | 東津野村 |
| 45 | | | 森田 悦男 | 芸術文化 | 氏は、文化組織の役職を歴任し、数々の文化行事を企画実施し、文化活動の普及と向上に貢献した。分野別の文化団体の設立に尽力するとともに、県市の文化ホール建設に際しては、舞台関係者の要望を取りまとめ、それを建設に反映させ、ホール機能向上に努めた。 | 高知市教育委員会 |
| 46 | | | 岡林 幸郎 | 文化財 | 氏は、昭和37年から安芸市文化財保護審議会委員、及び安芸市史編纂委員を努めるなど、長年にわたり文化の振興や文化財の保護に寄与している。その他にも、安芸市歴史民族資料館の運営委員をはじめ、各種委員を務めるかわり、観光ボランティア等で講師をつとめるなど積極的に活躍している。 | 安芸市教育委員会 |
| 47 | | | 中平 節子 | 芸術文化 | 氏は、永年にわたり土佐松風会会長、また、県内の茶道六流派をまとめる高知和歌会の会長として茶会や茶道講演会を主催し、組織を発展させ、一流派にとどまらず、本県の茶道文化の振興に貢献している。また、伝統文化茶道こども教室や高知文化教室を通じて長年にわたり茶道の普及と後進の育成に努めている。 | 茶道裏千家淡交会 高知支部 |
| 48 | | | 荒谷 深雪 | 国際交流 | 氏は、よさこい祭りには発祥当初から踊り子、指導者としてかわり、昭和47年のフランス・ニュース・ニュースのカーニバルで自ら振付けた鳴子踊りを披露したのを皮切りに、諸外国によさこい鳴子踊りを紹介した。また昭和63年からはジャパンウィークに参加し、よさこい鳴子踊りを披露し、外国の踊り子チームがよさこい祭りに加わる礎となるなど、よさこい鳴子踊りを通じて国際交流に貢献している。 | 高知新聞社相談役 橋井昭六 |
| 49 | | | 鍵岡 正謹 | 芸術文化 | 氏は、高知県立美術館開館以来10年以上にわたって、館長として作品の収集、展覧会の開催等に努め、県民の方々に本物に接する喜びと安らぎの場を提供するとともに、特色ある美術館として全国的にも高い評価を受けている美術館の基礎を築いた。また、郷土関係の美術作家の調査・研究にも努め、その成果を出版物として発行するなど本県の芸術文化の向上に寄与をした。 | (財)高知県文化財団 |
| 50 | | | ロギール・アウテンボーガルト アウテンボーカルト千賀子 | 環境保全 芸術文化 | ロギール氏は昭和55年に来日してから現在まで土佐和紙の生産に取り組み、一切の薬品や機械を使用せず、自然環境に負担をかけないよう配慮しながら、純粹に土佐和紙の伝統技術を継承し、実践し続けている。また、地元の越知面小学校では家庭での原料栽培から卒業証書製作まで一貫して全校生徒に手漉き和紙の指導を続けている。このように土佐和紙の伝統継承にとどまらず、環境教育や地域の活性化にも長年にわたり尽力しつづけている。また、千賀子氏はこうしたロギール氏の活動を全面的に支えるとともに、夫妻共同で、構内町内での、アート&クラフトフェアを主催し、その収益金を周辺の環境保全に利用するなど、その功績も大きなものがある。 | 梶原町 |
| 51 | | | H16 | 第9回 | 西岡 恭一 | 芸術文化 |
| 52 | 弘田 秋雄 | 芸術文化 | | | 氏は、野市町立公民館館長及び野市町文化協会会長として、野市町の文化、芸術の振興に寄与した。また、土佐風づくりの保存活動に取り組み、野市町に大鳳上げ大会などを定着させるとともに、こども達に継承していくなど、郷土の伝統文化の保存に寄与した。 | 野市町立公民館 |
| 53 | 岡田 順一 | 環境保全 | | | 氏は、横田博氏らとともに不法投棄された廃棄物の撤去を呼びかけ、行政と地域住民が連携し、清掃活動を行った。また、撤去後に紫陽花を植栽し、その後も環境に配慮した維持管理を行うことにより町内外からの訪問者に喜ばれる街道を整備するなど、地域の環境美化に寄与した。 | 野市町環境対策室 |
| 54 | 横田 博 | 環境保全 | | | 氏は、岡田順一氏らとともに不法投棄された廃棄物の撤去を呼びかけ、行政と地域住民が連携し、清掃活動を行った。また、撤去後に紫陽花を植栽し、その後も環境に配慮した維持管理を行うことにより町内外からの訪問者に喜ばれる街道を整備するなど、地域の環境美化に寄与した。 | 野市町環境対策室 |
| 55 | 土佐中村一条太鼓振興会 | 芸術文化 | | | 同会は、厳しい和太鼓の練習と規律正しい行動を心がけた演奏活動を通じて、青少年の健全育成に寄与した。また、中村市内で開催される行事はもとより、県外での数多くの演奏活動を通じて、郷土の地域文化の振興に寄与した。 | 中村商工会議所 |
| 56 | 津野 幸右 | 文化財 | | | 氏は、多年にわたり高知県文化財保護審議会委員を務め、本県の民俗学の分野で文化財の保護に寄与した。 | 高知県文化財課 |
| 57 | 大豊町文化協会文芸部 | 生活文化 | | | 同部は、設立以来発行している地域文芸誌「ともしび」を、およそ6000人の町民の中から、100人を超える多くの投稿者を集めることや、1200部を発行し、広く町民に愛読してもらうなど、地域に根付いた文芸誌として発展させ、地道な活動を通じて地域の芸術文化の向上に寄与した。 | 大豊町教育委員会 |
| 58 | 高知市民ギャラリーの会 | 芸術文化 | | | 同会は、平成5年に「高知市民ギャラリーを作る会」として発足し、当初からあらゆる美術ジャンルの愛好家が集結した「上四波プラザ会館展」を開催した。また、高知市文化プラザ開館後は、「市民ギャラリーの会会員展」に改称して、全ジャンルの合同展として継続的に開催しており、これらの活動は、本県の芸術文化の振興に寄与した。 | (財)高知市文化振興事業団 |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|----|-----------------------|-------------------------|--|---|---------------------|
| 59 | H17 第10回 | 柳井 卓 | 芸術文化 | 氏は、昭和33年から県立高等学校教諭として勤務する傍ら、高知県高等学校音楽研究会、高知合唱連盟、高知コンサートグループの要職を歴任した。 また、平成元年の全国高等学校総合体育大会などの式典音楽担当を務めるほか、県立高知北高等学校などの校歌を作曲、さらに高知市民合唱団などの指揮者を歴任するなど、本県の音楽文化の振興に寄与した。 | 高知コンサートグループ |
| 60 | | 宅間 一之 | 文化財 | 氏は、多年にわたり高知県文化財保護連絡協議会、高知市文化財保護審議会、春野町文化財保護審議会、南国市文化財審議会委員会の要職を歴任した。 また、高知市史編纂委員会委員長を務める傍ら、長年にわたり執筆活動を続け、著書や論文の他、県・市町村発行の遺跡調査報告書の作成に尽力されるなど、本県の文化財の保護に寄与した。 | 高知市教育委員会 |
| 61 | | 行川小学校こどもエコクラブ「びーちくばーちく」 | 環境保全 | 同クラブは、平成10年4月の発足以来、優れた指導者のもと多年にわたり自然に直接触れ、感じ、自然を考え、自然との共生を実践するなど社会活動も含めた地域と一体となった体験型活動を多く取り入れた自然環境の保護に関する継続した活動を行うなど、地域の環境保全に寄与した。 | 高知市環境部環境保全課 |
| 62 | | 葛根 延富 | 環境保全 | 氏は、昭和52年から、夜須町の町道「添地一堀ノ内線」の沿道にアジサイを植栽するための開墾を始めた。同55年から植栽を開始し、毎年、これらの植栽地を管理するほか、花菖蒲の植栽や、周辺の桜の管理を行うなどにより町道周辺の景観の保全や不法投棄の防止による環境の美化に寄与した。 | 夜須町 |
| 63 | | 高知県中南米親善協会 | 国際交流 | 同会は、昭和61年の発足以来、多年にわたり移住地を訪問するなど中南米移住者との親善交流を続けてきた。 また、移住地からの一時帰国者や留学生、研修生に対する支援や移住地に関するパネル展や講演会の開催に参画し、県民への啓発を図るなど中南米移住地との友好親善に寄与した。 | 国際交流課 |
| 64 | | アジア・僻地医療を支援する会 | 国際交流 | 同会は、平成8年の発足以来、継続してインドネシア共和国パプア州への専門家やスタッフの派遣及び受入、医療機器の送付など現地における医療保健衛生分野における支援活動を実施しており、本県の国際協力活動の振興に寄与した。 | (財)高知県国際交流協会 |
| 65 | H18 第11回 | 田辺 寿男 | 芸術文化 文化財 | 氏は、多年にわたり高知県の民俗の調査研究と写真撮影を続け、論文や写真集などでその成果を公表してきた。 また、高知県歴史民俗資料館運営協議会委員、高知市文化財保護審議会委員、土佐民俗学会等の要職を務めるなど本県の民俗学の発展及び文化財の保護に寄与した。 | (財)高知県文化財団 |
| 66 | | 山本 武雄 | 文化財 | 氏は、多年にわたり郷土の歴史や文化の調査研究を行い、著書や論文などでその成果を公表するとともに、歴史や文化の普及活動を行ってきた。 また、室戸市文化財調査委員会委員、同文化財保護審議会委員、土佐史談会の要職を務めるなど本県の文化財の保護に寄与した。 | 室戸市教育委員会 |
| 67 | | 酒井 明 | 文化財 | 氏は、多年にわたり郷土の歴史や文化の調査研究を行うとともに、宿毛の地域内で伝承されてきた民話集の発行に尽力した。 また、高知県文化財保護指導員、高知県文化財保護連絡協議会理事、宿毛市文化財保護審議会の要職を務めるなど本県の文化財の保護に寄与した。 | 宿毛市教育委員会 |
| 68 | | 中山 絃一 | 自然保護 文化財 | 氏は、多年にわたり県内の野生生物(昆虫)の調査研究を続け、その生態を明らかにするとともに、高知県野生生物保護対策検討委員、高知県文化財保護審議会委員などを歴任し、天然記念物をはじめとする本県の野生生物の保全と保護思想の普及啓発に寄与した。 | 高知県教育委員会 |
| 69 | | 岡田 光男 | 自然保護 | 氏は、多年にわたりヤイロチョウの観察を続け、その成果を研究者に提供するなどヤイロチョウの調査研究の発展に寄与した。 また、近年は高校生や海外研究者との交流事業に参加するなどヤイロチョウの保護活動の発展に寄与した。 | (社)生態系トラスト協会 事務局 |
| 70 | | 高知SGG善意通訳クラブ | 国際交流 | 同会は、昭和63年の発足以来、多年にわたり高知域において外国人観光客や県内在住の外国人への観光ガイドを続けてきた。 また、県内での会議やイベント等における案内や通訳、翻訳活動を行うとともに、日本や地域の文化を紹介するイベントを開催するなど本県の国際交流の振興に寄与した。 | (財)高知県国際交流協会 |
| 71 | 特定非営利活動法人 アジア文化交流会 | 国際交流 | 同会は、平成11年の発足以来、継続して中国雲南省における小学校建設活動や文房具の寄附、就学支援活動を行うとともに、県内における中国人留学生との日中友好の集いの開催、日中友好の場としての「和公園」の建設を行うなど本県の国際協力及び国際交流に寄与した。 | (財)高知県国際交流協会 | |
| 72 | H19 第12回 | 野中 秀偉 | 芸術文化 | 氏は、秀風流日本吟詠会を創設し、多年にわたり吟詠を通じて県内の吟剣詩舞道の振興、発展に努めてきた。 また、(財)日本吟剣詩舞振興会評議員、日本漢詩連盟理事、高知県漢詩連盟会長、高知県吟剣詩舞道総連盟理事長、高知県吟剣詩舞連盟会長等の要職を務め、吟詠、剣詩舞の普及、組織の育成など、本県の伝統文化の振興に寄与した。 | 高知市文化協会 |
| 73 | | 岡本 倫枝 | 芸術文化 | 氏は、多年にわたり高知県フォークダンス連盟副理事長、高知県民謡指導者連盟副会長、高知県民謡指導者クラブ副会長等の要職を務め、後進の指導・養成や各種文化教室、チャリティー発表会の指導を行うなど民謡の普及発展に尽力し、本県の文化芸術の振興に寄与した。 また、「通学道のあじさいボランティア」をはじめとする地域のボランティア活動にも尽力した。 | 春野町 つどいの会 |
| 74 | | 大脇 保彦 | 文化財の保護 自然環境の保護 | 氏は、多年にわたり郷土の歴史地理の調査研究を行い、著書や論文などでその成果を発表するとともに、高知県文化財保護審議会委員、史跡高知城跡整備計画策定委員会会長、高知県自然環境保全審議会委員等の要職をつとめ、本県の史跡、名勝、天然記念物の保存や活用、自然環境の保全に寄与した。 | 高知県教育委員会 |
| 75 | | 入交 幸三 | 文化財の保護 自然環境の保護 | 氏は、本県最初の樹木医として、多年にわたり数多くの樹木の診断や調査を行い、森林の保護に尽力するとともに、高知県文化財保護審議会委員を務め、県の天然記念物(植物部門)の指定に携わるなど、本県の天然記念物の保護、自然環境の保全に寄与した。 | 高知県教育委員会 |
| 76 | | 吉川 浩史 | 国際交流 | 氏は、多年にわたり本県と姉妹提携をしているフィリピンベンゲット州から農業研修生の受入を積極的に推進し、双方の農業の発展に尽力してきた。 また、高知県・ベンゲット州姉妹交流推進会議副会長、同会長、高知県協力隊を育てる会会長、高知県外国人研修生受入組合連絡協議会会長などの要職を務め、本県の国際協力及び国際交流に寄与した。 | (財)高知県国際交流協会 |
| 77 | | 高知市立 高知商業高等学校生徒会 | 国際交流 | 同会は、多年にわたりNGO組織「高知ラオス会」を通じ、ラオスに学校を建設する活動を続けている。 また、ラオス物産展を核とした地元商店街イベントの開催、フェアトレードの仕組みでラオスの伝統的織物を利用したエコバックの制作を現地工場に委託するなど、新しいかたちの国際交流を展開し、本県の国際協力及び国際交流に寄与した。 | (財)高知県国際交流協会 |
| 78 | 近森 律子 | 芸術の振興 文化財の保護 | 氏は、多年にわたり県指定の無形文化財である一絃琴の技術の向上に努めるとともに、正曲一絃琴白鷺会の副会長、会長を歴任し、県内外で数多くの演奏活動を行い、高知丸の内高等学校や高知文化教室、県内各地の小中学校で指導を行うなど、一絃琴の継承、発展に尽力した。 また、一絃琴の歴史的資料の収集、整理や全国の一絃琴団体との交流などにも積極的に取り組み、本県の伝統芸術文化の保存、振興に寄与した。 | 正曲一絃琴白鷺会 | |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|----|-------------|-------------------------|------------------|--|----------------------------|
| 79 | H20 第13回 | 地引 葆 | 文化財の保護 | 氏は、刀剣類に関する高い鑑定力を評価され、多年にわたり銃砲刀剣類所持等取締法に基づく登録審査委員を務め、適正な登録審査に尽力した。 また、美術工芸分野(刀剣)の専門家として、高知県文化財保護審議会委員を務め、国及び県指定の刀剣の保護、管理指導をはじめ、本県の文化財保護に寄与した。 | 高知県教育委員会 |
| 80 | | 市村 金次郎 | 国際交流 | 氏は、高知市と中国安徽省蕪湖市との友好都市提携には、当初から関わり、その後は安徽師範大学客員教授や高知市・蕪湖市友好都市委員会副会長、高知県日中友好協会副会長などの要職を務め、多年にわたり本県の日中友好交流、中国残留孤児対策に尽力した。 また、中国語の音韻論的研究や日中比較文化論的研究など、学術研究においても、その充実発展に寄与した。 | 特定非営利活動法人 高知県日中友好協会 |
| 81 | | 物部川21世紀の森と水の会 | 自然環境の保護 | 同会は、多年にわたり間伐体験や植樹などを通じた物部川源流域の森林整備や川祭り、環境パズラー、一斉清掃といった様々なイベントを開催し、物部川の河川環境の現状を広く流域住民に知ってもらう活動など、物部川流域全体で河川環境の保全に取り組む意識の醸成に尽力し、物部川の河川環境の保全に寄与した。 | 高知県企画調整課 |
| 82 | | 寺尾 敦子 | 社会貢献活動 | 氏は、多年にわたり交通安全運動の普及、啓発に積極的に取り組み、安芸市交通安全母の会会長、高知県交通安全母の会副会長を務めるなど、本県の交通安全の推進に寄与した。 また、安芸市連合婦人会会長、高知県連合婦人会会長、高知県健康づくり婦人会連合会会長などの要職も務め、幅広い分野において社会貢献活動に尽力した。 | 安芸市 |
| 83 | | 高知掃除に学ぶ会 | 社会貢献活動 | 同会は、トイレを掃除すると心が磨かれるとの考えから、多年にわたり小中学校を中心に本県各地の駅や公園などの公共施設や学校のトイレを借りて、施設の職員や児童・生徒と共にトイレ掃除を行い、施設の職員や児童・生徒に影響を与え自主的な活動に広がるなど、社会貢献活動に尽力した。 | 特定非営利活動法人 エコネットなんごく |
| 84 | H21 第14回 | 森本 みどり | 文化芸術の振興 | 氏は、多年にわたりピアノ指導者として、多くの人材を指導、育成し、高知県ピアノ指導者協会、(財)全日本ピアノ指導者協会高知支部の発足に参画、副会長及び副支部長として、本県のピアノ指導教育の向上に尽力した。 また、ピアニストとしても、音楽家団体高知コンサートグループ創立から参加し、演奏活動を継続するとともに、多年にわたり副理事長としてグループの育成、指導に努め、本県の音楽文化の振興に寄与した。 | 高知コンサートグループ 高知県ピアノ指導者協会 |
| 85 | | 安徽省日中友好の森づくりネットワーク | 国際交流 | 同ネットワークは、毎年、高知県と友好提携を結んでいる中国安徽省で植樹活動を行い、安徽省における水源林の造成や緑化意識の普及に尽力した。 また、植樹だけにとどまらず、林業庁職員との交流や地元の中学生と植樹や木工を通じた心の交流を進めるなど、本県の国際協力、国際交流に寄与した。 | (財)高知県国際交流協会 |
| 86 | | 西尾 正 | 環境の保全 文化芸術の振興 | 氏は、多年にわたり四万十市民憲章推進協議会の委員、会長として、毎年実施される市民側溝清掃を市民参加型の活動として定着させるなど、地域の環境美化活動に尽力した。 また、四万十市環境審議会会長として、四万十市環境基本計画の策定、四万十市四万十川環境審議会会長としては、四万十川景観計画の策定に尽力するなど、市の環境保全の推進に貢献した。 さらに、多年にわたり四万十市文化協会の委員、会長として地域の文化芸術の振興にも寄与した。 | 四万十市 |
| 87 | | 西本 他人 | 社会貢献活動 | 氏は、多年にわたり四万十市及び県の交通安全指導員として街頭指導や広報活動、交通安全教育等に積極的に取り組み、地域の交通事故防止に尽力した。 また、四万十市及び中村警察署管内の交通安全指導員会会長、幡多地区交通安全指導員協議会会長、高知県交通安全指導員協議会副会長を務め、地域や県域における交通安全の推進に貢献した。 | 四万十市 |
| 88 | H22 第15回 | 徳弘 秀綱 | 文化財の保護 | 氏は、多年にわたり文化財の保護に取り組み、大豊町文化財保護審議会会長として、数多くの文化財の指定を行い、大豊町史編纂委員会の委員、会長として編纂に携わるなど、地域における文化財の保護、歴史文化の継承に尽力した。 また、高知県文化財保護連絡協議会や中央地区文化財保護連絡協議会の役員、高知県文化財保護指導員として、文化財の調査、研究、保護に努め、本県の文化財保護に寄与した。 | 大豊町教育委員会 |
| 89 | | 高橋 正 | 文化芸術の振興 | 氏は、多年にわたり近代文学の研究に努め、多くの論文や著書を発表するとともに、県立文学館の開設に携わり、県内各地の近代文学講座の講師を務めるなど、近代文学の普及に尽力した。 また、多くの文芸・文学団体の代表、役員や文芸・文学賞の選考委員を務め、石川啄木の父である石川一禎の終焉の地の歌碑建立に尽力するなど、本県の文化芸術の振興に寄与した。 | (財)高知県文化財団 |
| 90 | | 神田 優 | 自然環境の保護 | 氏は、島が丸ごと博物館という構想のもと、大月町柏島に特定非営利活動法人黒潮実感センターを設立し、自然を実感する取り組み、自然を活かした暮らしづくり、自然と暮らしを守る取り組みを柱に地域と連携して取り組んだ。とりわけ、様々な年代を対象とした体験実習プログラムや先駆的な環境学習、地元漁業者とダイビング業者が協同し共存する取り組み、海洋環境の調査や藻場、サンゴの修復といった環境保護活動を行い、自然環境の保護に寄与するとともに、持続可能な地域社会づくりに尽力した。 | 山岡 耕作 |
| 91 | H23 第16回 | 南国市国際交流協会 | 国際交流 | 同会は発足当初から、地域住民と外国人の方々との交流を通じた異文化理解の推進に努めるとともに、外国人への日本語の指導、日本語指導のできるボランティアの養成などを行い、外国人と地域住民が共に理解し、支え合う地域づくりに尽力した。 また、外国人留学生と地域住民との交流に尽力し、日本文化の体験やホームステイ・ビジットのコーディネートといった、外国人と地域住民の相互理解を深める場を提供するなど、本県の国際交流に寄与した。 | 公益財団法人 高知県国際交流協会 |
| 92 | | 高知県立高知海洋高等学校 フィッシング部 | 自然環境の保護 | 同部は、高知海洋高等学校の開校と同時に水生生物と環境問題の研究を方針に掲げ創部された。 学校における研究成果の発表にとどまらず、地域の水辺環境の保護を目的にゴミの清掃活動と釣り大会を合わせて行うイベントを開催し、学校全体、行政と連携した活動に発展させるなど、地域の水辺環境の保護に尽力した。 また、県内外で行われる水辺環境の美化活動にも参画し、学校を挙げた取り組みとするなど、自然環境の保護に寄与した。 | 土佐市 |
| 93 | | 川島 節子 | 文化の振興 国際交流の推進 | 氏は、多年にわたり安芸地区や魚梁瀬地区でピアノ教室を開き、青少年の指導・育成に励むとともに、大正琴の講師として、県内各地で教室を開き、地域の活性化や伝統文化の継承に貢献した。 また、昭和初期に日米親善大使として贈った人形「ミス高知」の里帰り運動に参加し、それが縁となって米国ピッツバーグ大学の日本文化教室の落成式で大正琴の演奏を披露するなど、国際的な文化交流に寄与した。 | 橋井昭六 (高知新聞名誉顧問) |
| 94 | | 猪野 睦 | 文化の振興 | 氏は、多年にわたり本県の近代文学を研究し、多くの論文や著書を発表するとともに、県立文学館の開設に携わり、県内各地の近代文学講座の講師を務めるなど、本県の近代文学の普及に尽力した。 また、高知文学学校運営委員長、高知ベンクラブ副会長を務めるなど、本県の芸術文化の振興に貢献した。 さらに、日本現代詩人会会員、日本社会文学会評議員、詩人会議会員として、全国的な活動にも積極的に取り組んだ。 | 財団法人高知県文化財団 |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|-----|----------|------------------------|------------------|---|-----------------|
| 95 | | 伊藤 郁夫 | 県民生活の向上 | 氏は、多年にわたり高陵地区及び県の交通安全指導員として、街頭指導や啓発活動、交通安全教育等に積極的に取り組み、地域の交通事故防止に尽力した。 また、高陵地区交通安全指導員協議会会長や高知県交通安全指導員協議会副会長を務め、広域的な交通安全の推進に貢献した。 | 四万十町 |
| 96 | | 高野農村歌舞伎保存会 | 文化の振興 | 同会は、高野の舞台が国の重要有形民俗文化財に指定されたことを機に、地区民が主体となって高野農村歌舞伎を復興し、定期的に上演を重ねるなど、保存と伝承に尽力した。 また、高知県内の地芝居4団体で民俗芸能ネットワーク協議会を立ち上げ、人材育成や交流などを図り、高知県の伝統芸能の継承に貢献した。 | 津野町教育委員会 |
| 97 | | 情報交流館 知恵袋の会 | 環境の保全 | 同会は、親子を対象とした里山自然体験教室を実施し、農作業や昔遊びなどの体験を通じて四季折々の自然環境と触れあう機会を提供するとともに、先人の貴重な経験や知恵の伝承に尽力した。 また、物部川流域をフィールドとして、子どもたちが清流の再生や保全について考えるきっかけづくりを行い、地域の環境保全やふるさとの絆づくりに貢献した。 | 香美市 |
| 98 | H24 第17回 | 高橋宣之 | 文化の振興 | 氏は、多年にわたりフリーランスの写真家として、日本はもとより世界を舞台として活躍し、数多くの写真や映像により、美しい自然に関する作品を発表し続けるなど、本県の芸術文化の普及に貢献した。 また、仁淀川の魅力を美しい写真や映像とあわせ「仁淀ブルー」という言葉で全国に発信し、地域の振興に寄与した。 さらに、県内市町村の美術展やキャンポフォトコンテストの審査員を歴任するなど、後進の育成に尽力した。 | 竹村 悦朗 |
| 99 | | 高知市民合唱団 | 文化の振興 | 同団は、多年にわたり高知県合唱祭へ参加するとともに、定期演奏会を毎年開催するなど地道に演奏活動を継続し、本県の音楽文化の普及、向上に貢献した。 また、国民文化祭やよさこい高知国体などの全国的な行事にも積極的に出演するとともに、病院や施設への訪問コンサートなど社会貢献活動にも尽力した。 | 高知市民合唱団 |
| 100 | | 池本 昇 | 環境の保全 | 氏は、多年にわたり野根川清流保全協議会会長として、野根川河川敷の草刈りなど、清掃活動を地域ぐるみで行うとともに、あじさいや桜を植栽するなど環境美化に尽力した。 また、野根川さくら祭りを開催し、自然の大切さを啓発するなど、自然環境の保全に貢献した。 | 東洋町 |
| 101 | | 池本 俊夫 | 文化財の保護 | 氏は、特別天然記念物に指定されている「土佐のオナガドリ」の飼育に30年以上献身的に従事し、その保護に尽力した。 また、現在も大篠オナガドリ保存会会長として、オナガドリの種の保存と改良増殖に貢献するとともに、オナガドリの飼育推進に努めた。 | 南国市 |
| 102 | | 熊沢 佳範 | 環境の保全 | 氏は、平成11年から現在まで14年間にわたり、高知海岸において、独自の孵化場を考案・設置し、監視を行うなど絶滅が危惧されているうみがめの保護に尽力した。 また、春野東小学校や春野西小学校の校庭にも孵化場を設置し、孵化場の管理や孵化後の放流会など児童の体験学習を指導した。 さらに、高知海岸パートナーシップの一員として産卵シーズン前の海岸の清掃活動やうみがめ放流会での指導など、地域ぐるみでの保護活動において、指導的な役割を果たした。 | 環境共生課 |
| 103 | | 香崎 和平 | 文化財の保護 | 氏は、昭和50年から永年にわたり、須崎市文化財保護委員会及び須崎市文化財保護審議会の委員、会長を務められ、その間の活動が、法印山の遍路板碑・上分大日堂大日如来像の県指定文化財に結びつくなど、須崎市の文化財の保護伝承に尽力した。 また、須崎史談会理事、会長として郷土史の発展に尽力した。 | 須崎市 |
| 104 | H25 第18回 | 佐藤 広子 (ペンネーム くさか里樹) | 文化の振興 | 氏は、プロ漫画家としてデビューを果たして以来、執筆の傍ら、平成17年から現在までの9年間にわたり「全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)」審査員を務めるとともに、「まんが王国・土佐」の認知度の向上を目指す取組にも積極的に協力するなど、高知県のまんが文化の発展に貢献した。 また、県内の数々のまんがコンテストの審査員や新聞の漫画投稿欄の指導者として後進の育成に尽力した。 | まんが・コンテンツ課 |
| 105 | | 南 照 | 文化の振興 文化財の保護 | 氏は、安芸公民館の運営委員長を10年、安芸市文化協会会長を12年間務められるとともに、陶芸の里検討委員会委員長として内原野陶芸館の開設に尽力し、開設当初から館長として、作陶の普及、指導に務められるなど、安芸市の芸術文化の振興に尽力した。 さらに、平成10年からは安芸市文化財保護審議会委員、会長を務められ、その間、安芸市土居の武家屋敷が、安芸市土居郡中重要伝統的建造物群保存地区として国の選定を受けるなど、文化財保護に尽力した。 | 安芸市 |
| 106 | | 山形 夕佳 (う〜み) | 文化の振興 | 氏は、平成12年に音楽活動を開始後、平成15年には活動の拠点を高知県に移し、音楽の持つ力によって聞く人の心に元気や勇気を与えるための活動として、学校や病院、障害者作業所、老人保健施設等での音楽療法を兼ねたコンサートや、村民ミュージカルの企画・脚本・演出等を行った。 また、平成25年4月に開校した高知市立はりまや橋小学校の校歌の作詞・作曲を担当し、歌詞の一部を小学生とともに作詞するなど、参加型の音楽活動として地域に密着した取組を行った。 さらに、東日本大震災後はNPO法人などわを立ち上げ、幅広い支援活動の中でのコンサートや執筆活動など、県内外での幅広い活動を通して高知県の文化の振興に尽力した。 | NPO法人 などわ |
| 107 | | 坂井 智宏 | 文化の振興 県民生活の向上 | 氏は、永年にわたる県内各地における積極的な文化講演活動などにより、空海文化、遍路文化の普及に尽力した。 また、全国初の国立青少年自然の家である室戸青少年自然の家の建設や、廃校を活用した室戸ジオパークの新たな拠点施設の建設に向けた取組にも尽力するなど、幅広く地域の活性化に貢献している。 | NPO法人 室戸を元気にする会 |
| 108 | | 坂本 純一 (間 六口) | 文化の振興 | 氏は、永年に渡り、中山間地域等を訪問し、笑いを届けることで、人や地域を元気にする活動を行うとともに、地域の活性化や伝統文化の継承を目指した祭りの応援に県内各地を奔走し、定着に取り組んだ。 さらに、「一條大祭大衆芸能大会」や「元気まつり」をプロデューサーとして立ち上げ、「土佐一條公家行列藤祭り」ではイベント部門の責任者として祭りを支え続けるなど、幅広く地域の文化の振興に尽力した。 | 中村商工会議所 |
| 109 | H26 第19回 | 上田 堯世 | 文化財の保護 | 氏は、永年に渡り、高知県文化財保護審議会委員として、文化財建造物を専門分野として勤めるとともに、近代和風建築総合調査など様々な調査に携わるなど高知県の文化財保護、伝承に尽力した。 また、市町村においても、高知市文化財保護審議会委員、いの町文化財保護審議会委員、四万十町文化的景観整備管理委員会常任委員など、建造物に対する専門的な知識を活かし、文化財の保存と活用にも尽力した。 | 文化財課 |
| 110 | | 安田 鐵馬 | 文化の振興 | 氏は、永年に渡り、四万十市等で詩吟教室を主宰し、詩吟を通じた地域の文化振興に貢献した。 また、四万十市文化協会中村支部副支部長、四万十市文化祭執行委員会副会長として、文化祭の開催と適切な運営に尽力した。 さらに、地元集落では、地区長を補助し、太刀踊り等集落の伝統行事の継承にも努めるなど幅広く地域文化の振興に貢献した。 | 四万十市 |
| 111 | | 榮 勇男 | 県民生活の向上 | 氏は、中村市交通安全指導員、高知県交通安全指導員に就任以来、永年に渡り、街頭指導及び広報活動、交通安全全期間中の各種行事等に積極的に取り組むなど、日夜献身的に活動し、地域の交通安全の推進と交通事故防止に貢献した。 また、これまでの経験や知識をもとに、後進に対する指導にも尽力した。 | 四万十市 |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|-----|----------|--------------|-----------|---|--|
| 112 | | 清家 敬太郎 | 環境の保全 | 氏は、沖の島を丸ごとコースにしてサイクリングやカヌーを行う「沖の島アドベンチャーラン」を島民と毎年共同で実施するなど、地域の人と共に、自然環境体験イベントやサイクルツアーを主催し、エコツーリズムを通して地域の環境保全に貢献した。 また、近年では、自然景観と地元食を楽しむ「グルメフォンド幡多」サイクルツアーを主催するなど、地域の活性化にも寄与した。 | NPO法人 高知県西部 NPO支援ネットワーク |
| 113 | H27 第20回 | 香我美町文化協会 | 文化の振興 | 昭和50年に協会が発足してから現在に至るまで、地域において文化祭や著名な演奏家のコンサートを開催する等、精力的に地域住民が芸術に触れる機会を設け、文化の振興に尽力した。 また、岡本弥太を顕彰した文芸賞の創設や、地元小学生と制作した県無形民俗文化財「山北の棒踊り」動画紙芝居の配信に取り組む等、地域の伝統文化の継承に貢献している。 | 香南市 |
| 114 | | 曾我部 修 | 文化の振興 | 氏は、高知県合唱連盟理事長在任中に、高知県の合唱界では初の全国行事「おかあさんカンタータin高知」の開催や、全日本合唱連盟主催のコンクールの県予選である「高知県合唱コンクール」を立ち上げ、軌道に乗せるなど、高知県合唱界の振興に尽力した。 また、高知「第九」演奏会実行委員長として、ペーターベ「第九」演奏会を通じ、合唱を通じた芸術文化の普及に取り組む等、文化の振興に貢献している。 | 高知県合唱連盟 理事長 西本佳奈子 |
| 115 | | 溝渕 博彦 | 文化財の保護 | 氏は、永年にわたり、高知県文化財保護審議会委員として、文化財建造物を専門分野として勤め、国の重要文化財の指定や重要伝統的建造物群の選定、登録文化財の登録に尽力するとともに、高知市濱口雄幸邸の修復について助言を行う等、県内文化財建造物の保護について尽力した。 また、「四万十街道ひなまつり」をはじめ文化財建造物を活用した住民活動の支援を行う等、地域の活性化にも貢献している。 | 高知県教育長 |
| 116 | | 香我美町一絃琴の会 | 文化の振興 | 平成8年の発足以来、一絃琴について、町内での聞き取り調査や修理等を行い、発掘、保存、伝承活動をすすめてきた。 また、香我美町出身の詩人、岡本弥太の詩をもとにした曲の編曲や国指定重要文化財、安岡家住宅での演奏会など地域資源を活用した活動の他、小学生への体験教室やまんが「一絃琴はじまり物語」作成など、次代への継承活動も積極的に行っており、文化の振興に貢献している。 | 香南市 |
| 117 | | 高知県歌人連盟 | 文化の振興 | 平成2年の結成以来、流派を超えて、高知歌壇の親睦、短歌文学の向上のための活動を行い、短歌に親むむことで地域文化の発展に寄与するため、親睦の和と研鑽の場を広げてきた。 また、結成以来毎年行われている短歌大会の開催に加え、近年は中学生・高校生に短詩型文学賞の応募を呼び掛けるなど、次世代への普及にも取り組んでおり、文化の振興に貢献している。 | 高知県歌人連盟 小橋 則通 |
| 118 | H28 第21回 | 北村 真実 | 文化の振興 | 氏は、自宅に「音の広場・カブリース」を設置し、ライブスペースとして開放するとともに、高知県内の演奏家と依頼者をつなぐ機関「NPO法人こうち音の文化振興会」を設立するなど地域に根ざした音楽活動を行ってきた。 また、子どもたちに気軽に生の音楽に触れる機会を提供するために、コンサートプロジェクト「おんがくのもり」を開始し、障害者のためにタウンモビリティステーションにおいて行う「ふくねこライブ」で音楽の素晴らしさを伝える活動を行っており、文化の振興に貢献している。 | NPO法人OpenHeart 障害福祉サービス事業所はあと33番地 代表 宇賀 恵子 |
| 119 | | 土佐和光会 | 文化の振興 | 平成8年に県下茶道7流派の有志により発議・結成され、主として慈善茶会等の呈茶奉仕活動を行ってきた。 毎年の慈善茶会を始め、高知城築城400年イベントでは40回にわたる記念茶会を開催し、ねんりんピックよさこい高知2013、牧野植物園の花遊会でも呈茶活動を行うなど長年にわたる呈茶奉仕を通じて、文化の振興に貢献している。 | 男性茶道土佐清風会 会長 山崎博司 |
| 120 | | 野島 民雄 | 文化の振興 | 氏は、昭和53年8月より平成18年2月まで、旧香北町長を務め、旧香北町出身の漫画家やなせたかし氏と交流し、平成8年の「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」の設立、開館に多大な功績を残した。また、平成7年から平成27年までの20年間、公益財団法人やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム振興財団理事長として勤め、アンパンマンミュージアムの運営、発展とともにまんがによる文化の発信に尽力しており、文化の振興に貢献している。 | 公益財団法人やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム振興財団 理事長 明石 猛 |
| 121 | | 岡崎 洋一郎 | 環境の保全 | 氏は、環境問題に高い関心を持ち、昭和63年に「ストップ・フロン高知」を、平成3年に「大津の自然を考える会」を立ち上げ、その中心メンバーとして環境保全や地球温暖化防止活動に早くから取り組んできた。 また、高知市議会議員となった後、平成14年には、自治体の議員で構成する「高知エコデザイン地方議員連盟協議会」の立ち上げにも尽力し、以後協議会の事務局長、顧問として、県民等への環境保全に関する普及啓発活動にも積極的に取り組むほか、近年は「浦戸湾の自然を未来に残す会」の会長として活躍しており、環境の保全に貢献している。 | NPO法人完全オゾン 処理型循環ろ過機安全 推進協議会 理事長 寺尾 智恵美 |
| 122 | | | 濱田 一郎(尚川) | 文化の振興 | 氏は、長く小学校教員として教育界で活躍する一方で、高知県展無鑑査理事、安芸全国書道展審査員などの要職を長く務め、高知県の書道の振興に貢献してきたほか、後進の指導にも尽力してきた。 また、高知市展の代表委員長を12年にわたり務め、美術全体の振興に尽力をするなど、文化の振興に貢献している。 |
| 123 | H29 第22回 | 山脇 幸一 | 環境の保全 | 氏は、平成13年より、いの町の宇治川河川敷堤防に桜の木を植える活動を始め、住民主導の植樹祭を開催し、地域の環境美化に貢献してきた。 平成16年には、「地域の環境を守るEcoクラブ」を結成し、農業は使わず作物残さ等を堆肥として再利用するEco農園の運営を開始し、会長として指導にあたっている。 また、グランオラス2,000本の植栽などによるいの町枝川公園の「花の公園」への再生や、宇治川へ有用微生物を練り込んだ泥団子を投入し、水質を浄化させるなど、本県の環境の美化保全に貢献している。 | NPO法人黒潮蘇生 交流会 理事長 山下 修 |
| 124 | | 上田 龍雄 | 県民生活の向上 | 氏は、平成18年4月に、みどり野自主防災防犯連合会長に就任以降、地域安全のための「拍子木パトロール」の実施、地域支え合いの「隣組」の編成、犯罪抑止効果の高い「青色防犯灯」の導入、防災訓練の実施、町内危険箇所点検など、地域安全の実現に中心的役割を果たしてきた。 また、平成23年9月に「高知県防犯設備協会」(平成24年1月NPO法人に認定)を設立し、理事長として地域安全活動に尽力しており、県民生活の向上に貢献している。 | NPO法人高知防犯 設備協会理事 藤川 精二郎 |
| 125 | | 小野 憲三 | 文化の振興 | 氏は、昭和39年から現在まで日本将棋連盟高吾支部長を務め、県内アマチュア将棋界の頂点を決める南海王将ではタイトルを通算11期獲得し、長く本県の将棋界を牽引してきた。 また、高知大学医学部将棋部で講師として学生を指導し、その後も越知町文化推進協議会内で子ども将棋教室や将棋サークル活動を行うなど後進の育成にも尽力しており、文化の振興に貢献している。 | 東岡 幸一郎 |
| 126 | | 物部いざなぎ流神楽保存会 | 文化財の保護 | 昭和54年の設立以来、いざなぎ流御祈禱及び舞神楽の保全・伝承活動を進めており、その活動は海外にも及び、アメリカのジャパン・ソサエティ・ギャラリーにていざなぎ流の「御幣」を紹介し、好評を博すなど、その普及に努めた。 また、地元小中学校の生徒に舞神楽と太鼓を伝承する活動にも取り組むなど、次世代への継承活動も積極的に行っており、文化財の保護に貢献している。 | 香美市教育委員会 教育長 時久 恵子 |
| 127 | | GENKI青年会 | 国際交流の推進 | 平成8年の設立以来、毎年「土佐弁ミュージカル」を開催し、草の根の国際交流を深めるとともに、土佐弁や高知文化のすばらしさを認識・発信する機会を作ってきた。 また、平成13年からは、海外留学を希望する県内の中高大学生のための募金助成活動にも取り組み、次世代の国際リーダー育成に努めるなど国際交流の推進に貢献している。 | 高知県文化生活スポーツ 部 国際交流課長 山崎 生 |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| | 年度 | 回数 | 受賞者名(団体名) | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|-----|-----|------|----------------|------------------|---|---|
| 128 | H30 | 第23回 | ガーナよさこい支援会 | 国際交流の推進 | 平成14年の発足以来、毎年ガーナの首都アクラでは「ガーナでよさこい祭り」が開催され、祭りへの鳴子や法被の寄贈や応援ツアーの実施、東京の原宿表参道元氣祭スーパーよさこいへのガーナチーム出場支援を行ってきた。 また、両国の高校生との研修旅行の支援も行い、それぞれの国の文化体験等を行うことにより交流を深めるなど、国際交流の推進に貢献している。 | 公益財団法人 高知県国際交流協会 代表理事 青木 章泰 |
| 129 | | | 前川 頼司 | 環境の保全 | 氏は、樫の木を種から苗木に育てる研究を重ねるとともに、人の手がかけられなくなった荒れた土地を一から整備してきた。 およそ30年間で樫の木を苗木を高知の山々に約30万本植え続けてきたことは本県の環境の保全に貢献している。 | 特定非営利活動法人など 理事長 山形 夕佳 |
| 130 | | | 三嶺の森をまわるみんなの会 | 環境の保全 | 平成19年の発足以来、シカの食害で自然植生が喪失した三嶺地域の保護と再生を目的に森林保全・再生活動を続けてきた。 主な活動として、ボランティアによる植生保護のための防鹿柵等の設置や、物部川流域の学校等を中心とした環境教育活動、住民向けのシンポジウム開催を行い、その結果、山域の一部では自然植生が回復するなど本県の環境保全に貢献している。 | 高知県中山間振興・交通部 鳥獣対策課長 三木 佛二 |
| 131 | | | 高知ライオンズクラブ | 県民生活の向上 | 昭和31年の発足以来、道路交通法により携帯が義務付けられている白杖等の寄贈を続けてきたことは、県内の視覚障害者の安全確保に大きく寄与し、県民生活の向上に貢献している。 | 高知県視覚障害者協会 会長 恒石 道男 |
| 132 | | | 豊永 桃子 | 文化の振興 | 幼少時からピアノ演奏に励み国内コンクールで多くの賞を受賞するとともに、高校卒業後は病院でのボランティア演奏を続けてきた。平成30年12月には「第4回アンハートノートピアノNewYork」に日本代表として出場し、ベストエフォートプライズ賞を受賞した。 令和元年5月にピアニストとしてデビューし、病院や学校などでコンサートを随時開催するなど、文化の振興に貢献している。 | 特定非営利活動法人など 理事長 山形 夕佳 |
| 133 | | | 中村 和子 | 文化の振興 | 昭和50年以降44年間の長きにわたり、県内の地歌舞伎3団体の指導を行っており、長年上演されていなかった演目の復活や新たな演目の掘り起こしにも尽力してきた。 近年では、県内唯一の指導者として後継者の育成に携わり、地歌舞伎演目の継承に尽力するなど、文化の振興に貢献している。 | 土佐絵金歌舞伎伝承会 会長 谷岡 信彦 |
| 134 | R1 | 第24回 | 大川上美良布神社おなげ保存会 | 文化財の保護 | 平成5年の設立以来、「大川上美良布神社の御神幸」の運営を行い、平成15年には高知県無形民俗文化財に指定された。 祭礼の実施にあたっては見学者に対して積極的な広報に努め、また日頃から子ども達へ稽古だけでなく祭礼の意義を伝えるなど熱心に保存活動に取り組んでおり、文化財の保護に貢献している。 | 香美市教育委員会 教育長 時久 恵子 |
| 135 | | | 平岡 英一 | 文化財の保護 | 昭和38年から、高知県職員として本県の畜産業の振興に尽力し、平成12年には高知県文化財保護審議会委員に就任し、現在まで努めている。 また、天然記念物に指定された特産鶏の研究に長年携わり、飼育者団体である保存会に対し飼育技術の指導にあたるなど、特産鶏の種の保存と保存会の育成に尽力し、文化財の保護に貢献している。 | 高知県教育委員会 教育長 伊藤 博明 |
| 136 | | | 高知日本語サロン | 国際交流の推進 | 平成16年の設立以降、ボランティアによる日本語教室の開催を継続して行い、県内在住外国人の日本語学習支援に努めている。 また、地域住民との交流イベントや日本文化体験イベントの開催も行い、地域住民との交流の場づくりに取り組むなど、国際交流の推進に貢献している。 | 公益財団法人高知県国際交流協会 代表理事 青木 章泰 |
| 137 | | | 高橋 啓 | 環境の保全 | 昭和45年から自然観察指導員として環境保全活動を始め、平成15年には「鏡川下流の貝を育てる会」を発足し、水質や生物調査、自然観察会の開催などを行ってきた。 また、高知県地球温暖化防止活動推進員や環境カウンセラーとして活動し、様々な環境活動に積極的に取り組むなど、環境の保全に貢献している。 | 特定非営利活動法人環境の杜 理事長 谷川 徹 |
| 138 | | | 高知県能楽協会 | 文化の振興 | 協会設立以来、高知県謡曲大会の開催や高知県立美術館での記念展の披露を定期的に行い、鑑賞・発表の機会の創出に努めてきた。 平成29年からは、未経験者を対象とした「能楽堂まるごと見学・能楽ミニ体験会」を開催し能楽の普及に尽力しており、文化の振興に貢献している。 | 山崎 博司 |
| 139 | R2 | 第25回 | 岩崎 勇 | 文化の振興 | 昭和43年から写真店を経営する傍ら、高知写真家協会の設立に携わり、多くの写真クラブを立ち上げるなど、精力的に活動を行ってきた。 また、多年にわたり高知大学教育学部や高知文化教室の講師を務め、多くの後進の育成に努めてきた。 さらに、平成10年から12年の間、土佐山田町(現香美市)文化協会会長を務め、文芸誌の発刊に携わるなど、文化の振興に貢献している。 | 香美市文化協会 会長 宮地 亀好 |
| 140 | | | モラード会 | 文化の振興 | 平成2年の設立以来、毎年「モラード会展」を開催し、会員の技能の向上と絵画鑑賞の機会の創出に努めてきた。 また平成23年にイタリア・ソレント日本文化祭に出展するなど精力的に活動を行っており、文化の振興に貢献している。 | 岩井 靖恵 |
| 141 | | | 岡本 桂典 | 文化財の保護 | 昭和63年から、高知県職員として本県の歴史文化の研究・普及活動に尽力し、平成16年には高知県文化財保護審議会委員に就任、平成30年には、副会長に就任、現在まで努めている。 また、専門の仏教考古学に関する研究に取り組み、平成5年に平尾道雄学術奨励賞を受賞し、現在同賞の選考委員を務めるなど、文化財の保護に貢献している。 | 高知県教育委員会 教育長 伊藤 博明 |
| 142 | R3 | 第26回 | 内田 洋子 | 環境の保全 県民生活の向上 | くらしを見つめる会代表として、グリーンコンシューマー10原則の作成や、「レジ袋いませんカード」の活用提案、マイバック持参活動の実施など、環境に配慮した消費行動の普及啓発に尽力している。 平成21年からは、全国の環境NGOとともに、「持続可能な地域社会をつくる首都コンテスト」を開催し、先進的な自治体の環境施策を広め、日本における持続可能な地域社会づくりの促進に尽力するなど、環境の保全や県民生活の向上に貢献している。 | 高知県地球温暖化防止活動推進員の会 会長 宮地 亀好 |
| 143 | | | 光本 朱實 | 県民生活の向上 | NPO法人こうち被害者支援センターの支援活動責任者として助産師や思春期相談等の知見を活かし、支援員養成研修等において実践的立場で現在まで指導するなど同センターの相談支援体制を構築した。 また、県内協力病院への協力依頼や医療従事者研修の運営を通じて医療関係者の性暴力被害者に対する理解を深め、必要な医療が迅速に提供される体制づくりに尽力し、高知県における犯罪被害者支援及び性暴力被害者支援の礎を築くなど、県民生活の向上に貢献している。 | 認定特定非営利活動法人こうち被害者支援センター 理事長 岡内 紀雄 |
| 144 | | | 谷村 泰久 | 文化の振興 | 県内各地の高等学校音楽科教諭を長年務め、学校の音楽部や合唱部の顧問・指揮者として多くの生徒を指導するとともに、高知市民合唱団の指揮者として指導を行い、県内の合唱の振興に努めた。 また、国体やよさこいピックなど全国的イベントにおける式典音楽の合唱隊指導に携わり、県内合唱団の技術と芸術性の向上に大きく寄与するなど、文化の振興に貢献している。 | 高知県合唱連盟 理事長 坂本 雅代 高知市民合唱団 団長 宮地 文子 |
| 145 | | | 西原 育子(菊由瀬 育子) | 文化の振興 | 78年の長きにわたり芸一筋に勤しみ、その間200回を超える演奏会への参加や主宰を務めるほか、東北震災チャリティー演奏会を開催するなど、精力的な演奏活動を行っている。 また、後進の指導にも尽力し、門人の育成をはじめ、高知大学邦楽部などの指導や、20年以上にわたる小学校でのボランティア活動に取り組むなど、日本の伝統芸能の継承発展や文化の振興に貢献している。 | 都山流高知県支部 支部長 汲田 拓山 |
| 146 | R4 | 第27回 | 山本 眞壽子 | 文化の振興 | 染織活動家として、日展や日本新工芸展など多数の展覧会に入選、入賞するとともに、染織工房はた舎(はたや)を設立し、養蚕から糸紡ぎ、機織りまでの全工程を手掛けている。また、教材として自費出版した「染織の手引」を各学校図書館に寄贈するなど、伝統工芸としての染織技術の普及に努めている。 また、長年にわたり文化芸術の実践者の代表として、高知県文化財団理事を務めるなど、県立文化施設の運営に寄与されており、文化、芸術の振興に貢献している。 | いの町教育委員会 教育長 藤岡 孝雄 |

■高知県文化環境功労者表彰受賞者・団体一覧

| | 年度 | 回数 | 受賞者名（団体名） | 受賞分野 | 受賞の対象となる功績 | 推薦機関 |
|-----|----|----|-----------|--------|--|-------------------------|
| 147 | | | 竹内 淳雄 | 文化の振興 | 50年以上の長きにわたり詩吟剣舞の研鑽を積み、日本詩吟学院の最高位である上席師範を皆伝するなど、高知県の文化・芸術・教育の振興と発展に寄与した。 また、日本詩吟剣舞団体の要職を務める傍ら、指導者として後進の育成に取り組み、多くの有段者や師範、指導者を輩出するなど、詩吟剣舞の活動とともに、多方面にわたり文化の向上、振興に貢献している。 | 須崎市長 |
| 148 | | | 井出 幸男 | 文化財の保護 | 高知大学教育学部教員として、長年にわたり土佐の民俗芸能および民俗歌謡を中心とした研究に打ち込み、後進の育成指導に努めた。 また、高知県文化財保護審議会委員として、高知県民俗芸能緊急調査の実施に尽力するとともに、県内各地で少子高齢化による存続が懸念される民俗芸能を自ら調査し、報告書にまとめるなど、文化財の保護に貢献している。 | 高知県文化生活スポーツ部 歴史文化財課長 |